

# 神戸市地域公共交通計画 進捗状況報告

第10回神戸市地域公共交通活性化協議会

施策1 都心での「人と公共交通中心の賑わいあるまちづくり」の推進と広域結節機能の向上

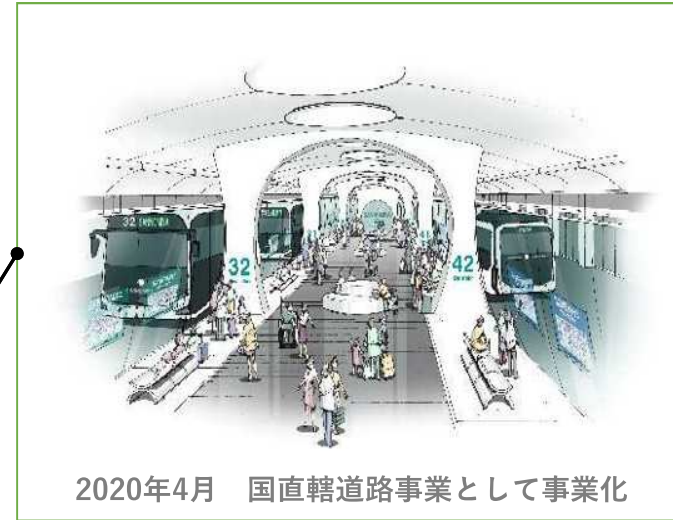
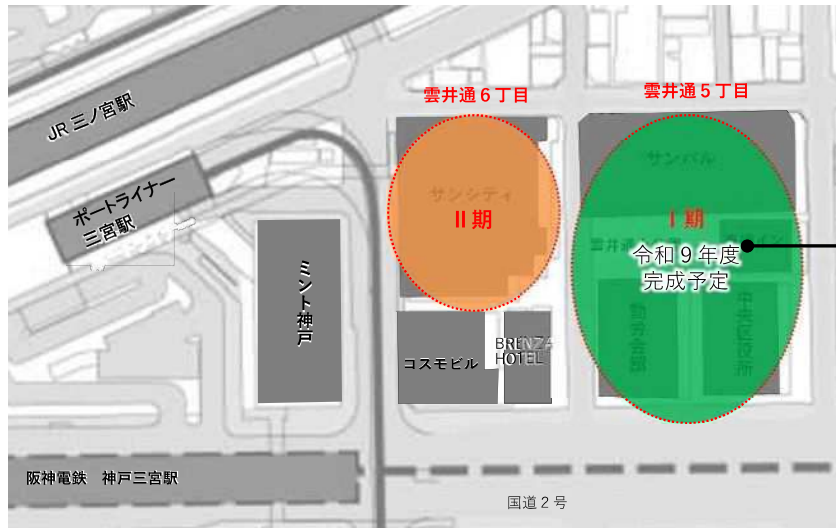




都心・三宮再整備

## 新たなバスターミナルが入る再開発ビルの整備

<再整備ブロック分けイメージ>



<雲井通5・6丁目再開発事業想定概略スケジュール>

	R3 (2021)	R4~R8 (2022~2026)	R9 (2027)
雲井通5(Ⅰ期)	事業認可手続き等	R4.6 解体工事着手 解体工事・新築工事	完成
雲井通6(Ⅱ期)		勉強会/都市計画・事業認可手続き等 R4.6 協議会設立	工事着手

※あくまで現時点の想定であり、スケジュールは変更になる可能性があります。

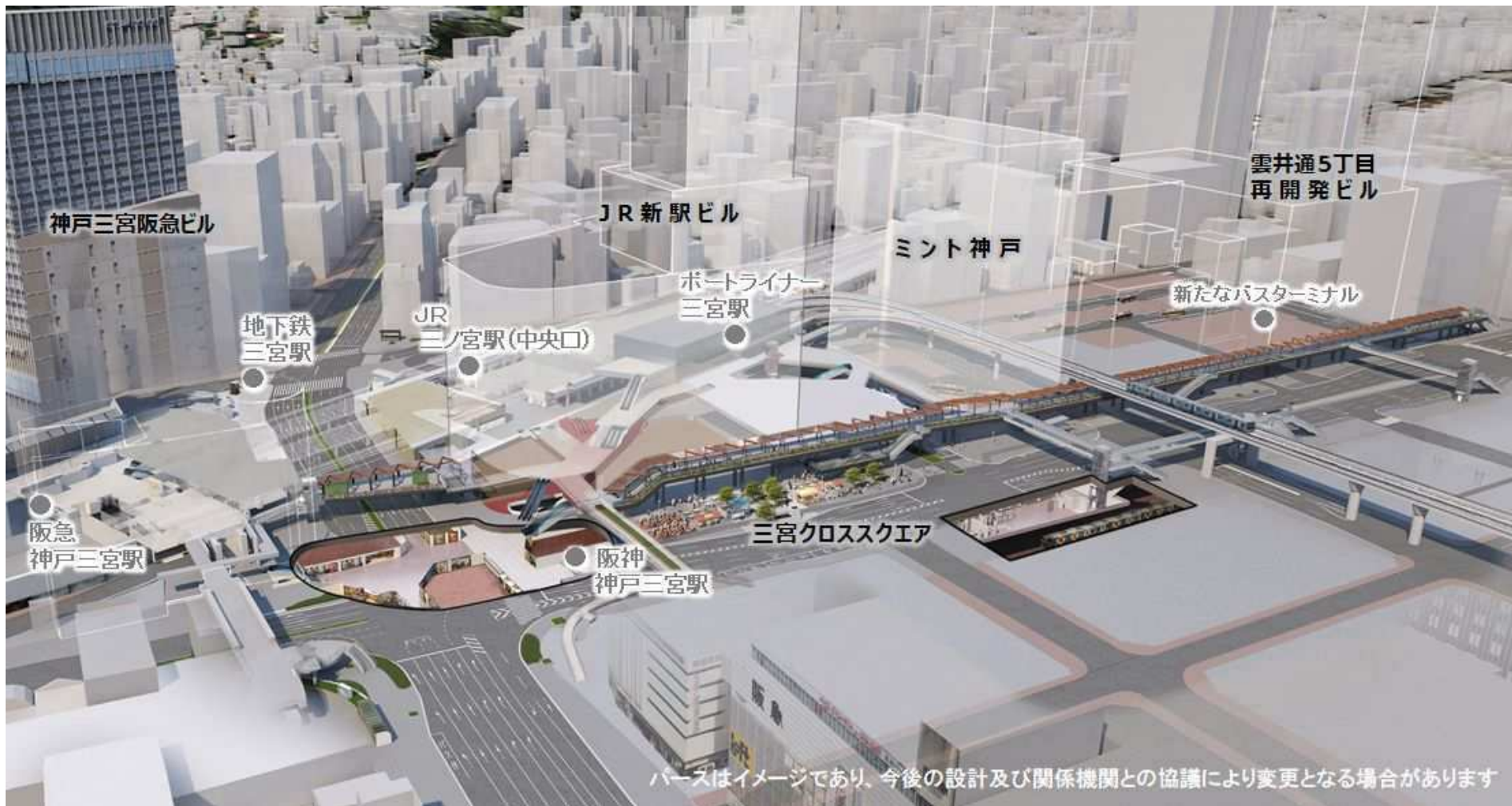


屋外歩廊空間イメージ (Ⅰ期南西より)

都心・三宮再整備

## 乗り換え動線の強化

歩行者デッキは2027年度以降 順次完成予定





都心・三宮再整備

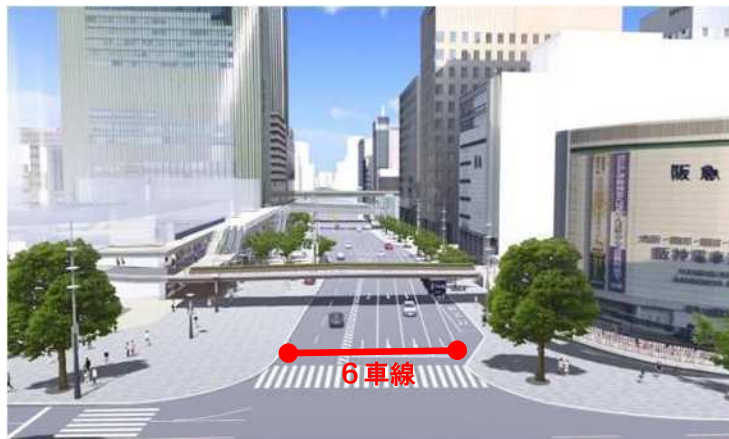
# 三宮クロススクエア（東側・段階整備のイメージ）

現況



第1段階

2029年度目標  
（JR新駅ビル開業と同時期）



第2段階

（大阪湾岸道路西伸部供用後）



※VRによるイメージ

## 三宮クロススクエア（第1段階に向けた自動車交通マネジメント）

都心部の東西交通を余裕のある外周道路に誘導し、人優先のまちづくりを推進



都心・三宮再整備

## 都心三宮における自動走行モビリティの導入へ向けた実証実験

### ■実施場所

神戸市中央区（三宮中央通り地下通路）

### ■実施時期

2023年1月27日～29日

### ■実施目的

三宮周辺をウォーカブルなまちとして再整備していく中で、まちの回遊性の向上や滞在機能を強化させるため、歩行者と共存する新たなモビリティの導入へ向けた検討。

2回目となる本実験は、公道における走行安全性や歩行者との共存性を検証。





## 都心三宮における自動走行モビリティの導入へ向けた実証実験

### ■実施内容

①公道における走行実証

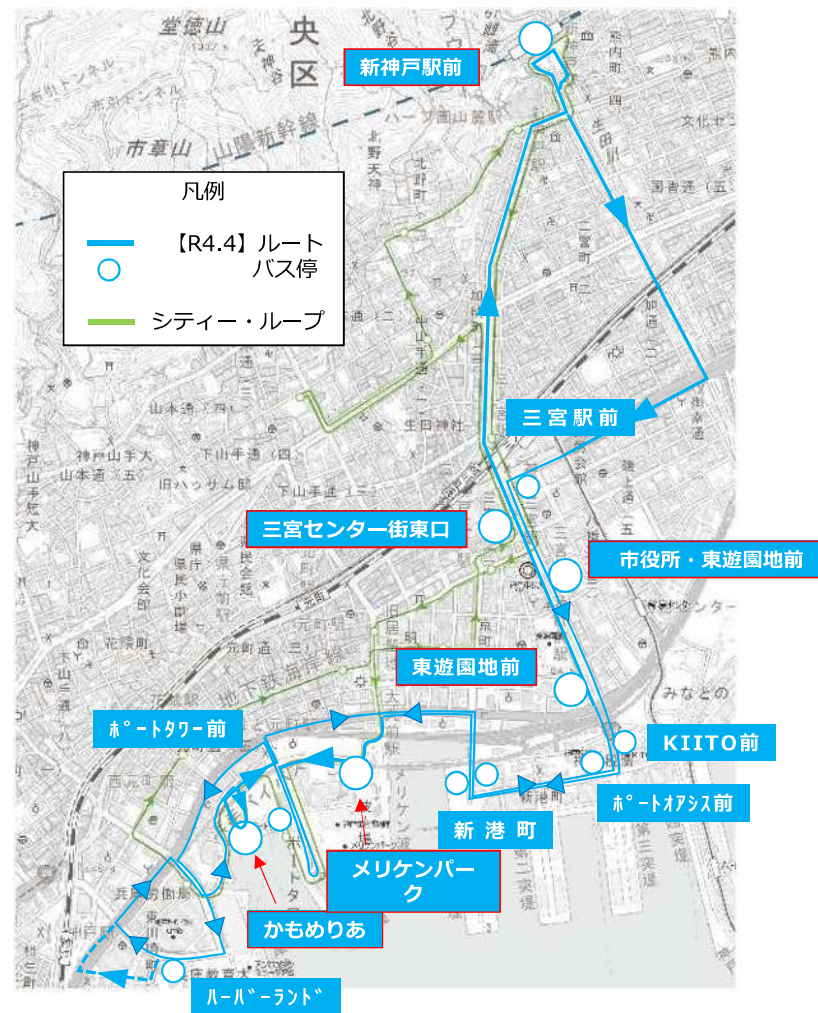
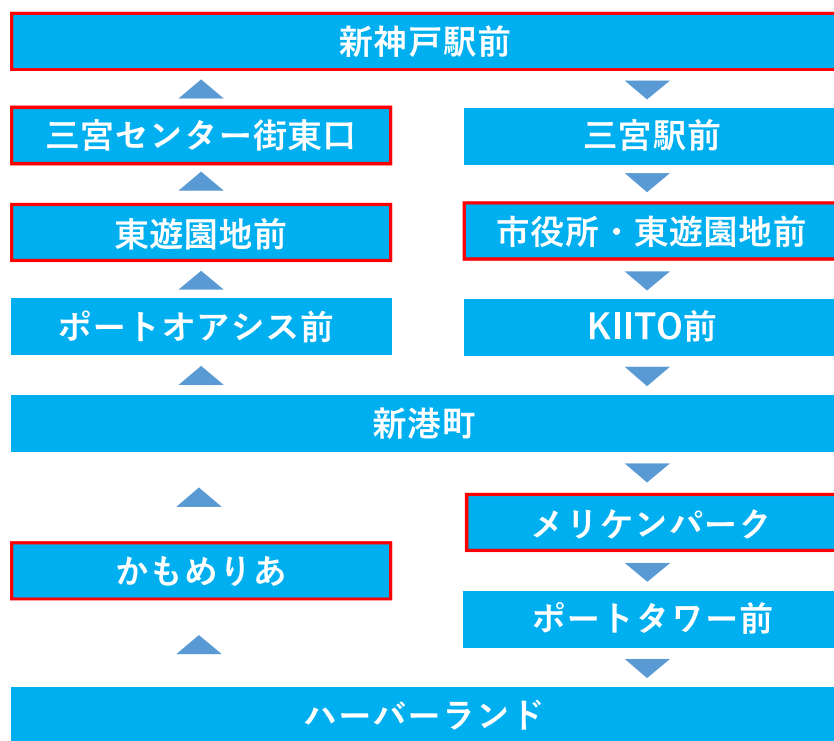


②将来の歩行者交通状況を想定した  
走行実証



# 連節バスPort Loopの延伸及びダイヤ拡充

■ 新神戸駅延伸及びバス停の新設  
(令和4年4月1日～)



## 連節バスPort Loopの延伸及びダイヤ拡充

### ■ 運行ダイヤの拡充

(令和4年4月1日～)

- ・ 20分ピッチとした  
わかりやすいダイヤを維持
- ・ 一周約50分→約70分

< 右図：三宮駅発ダイヤの例 >

	10/29より	
	平日	土日祝
<b>8</b>	50	55
<b>9</b>	25	25
<b>10</b>	00 20 40	00 20 40
<b>11</b>	00 20 40	00 20 40
<b>12</b>	00 20 40	00 20 40
<b>13</b>	00 20 40	00 20 40
<b>14</b>	00 20 40	00 20 45
<b>15</b>	00 20 40	05 25 45
<b>16</b>	00 20 40	05 25 45
<b>17</b>	00 20 40	10 30 55
<b>18</b>	00 30	10 40
<b>19</b>	00 30	10 40
<b>20</b>	00	10
<b>21</b>		
	計31便	計31便

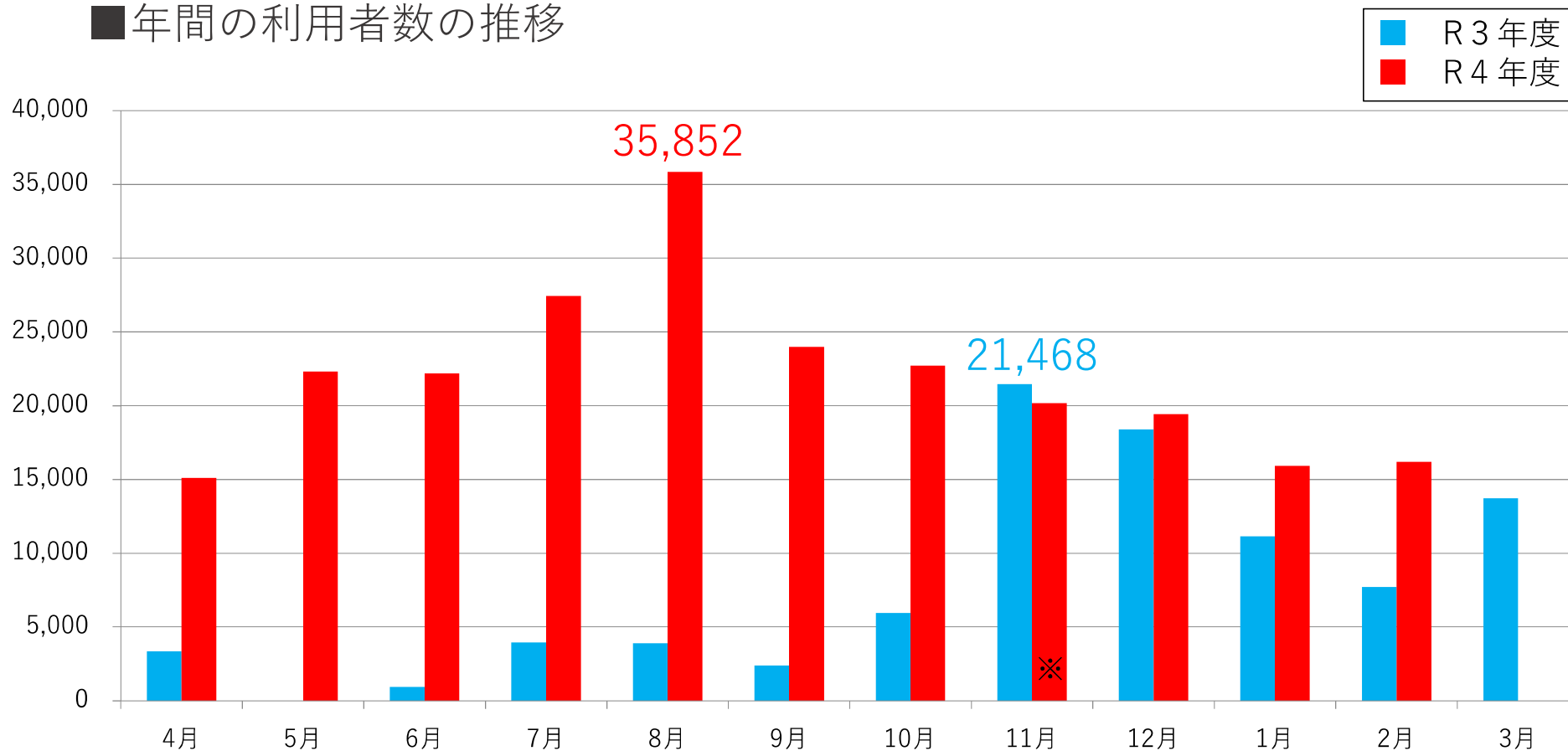


	令和4年4月1日より	
	平日	土日祝
<b>8</b>	50	55
<b>9</b>	25	25
<b>10</b>	00 20 40	00 20 40
<b>11</b>	00 20 40	00 20 40
<b>12</b>	00 20 40	00 20 40
<b>13</b>	00 15 35 55	00 20 40
<b>14</b>	15 30 50	00 20 45
<b>15</b>	15 35 50	05 25 45
<b>16</b>	10 35 55	10 30 50
<b>17</b>	10 35	10 30 55
<b>18</b>	00 25 55	10 35
<b>19</b>	40	10 50
<b>20</b>	10	25
<b>21</b>		
	計31便	計31便



# 連節バスPort Loopの利用状況

■ 年間の利用者数の推移



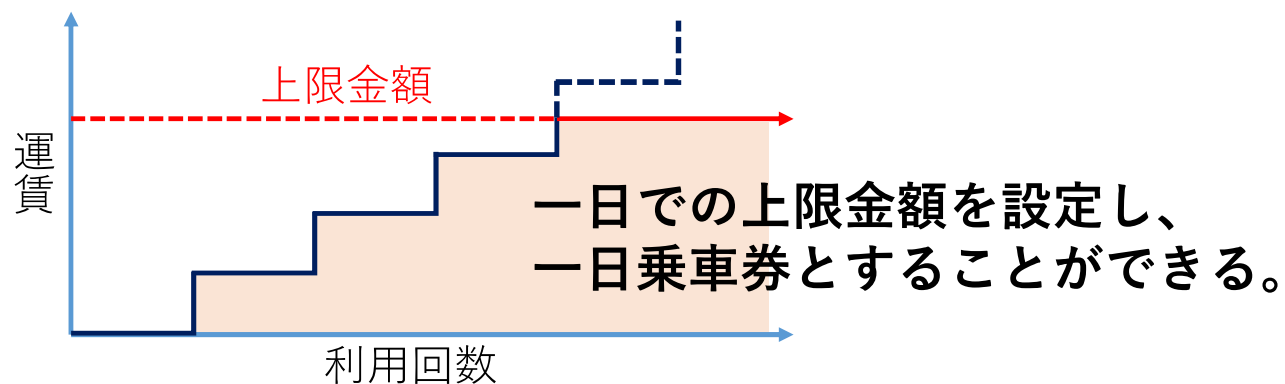
※ 神戸マラソン等運休日あり

# VISAタッチの導入

## ■実施内容

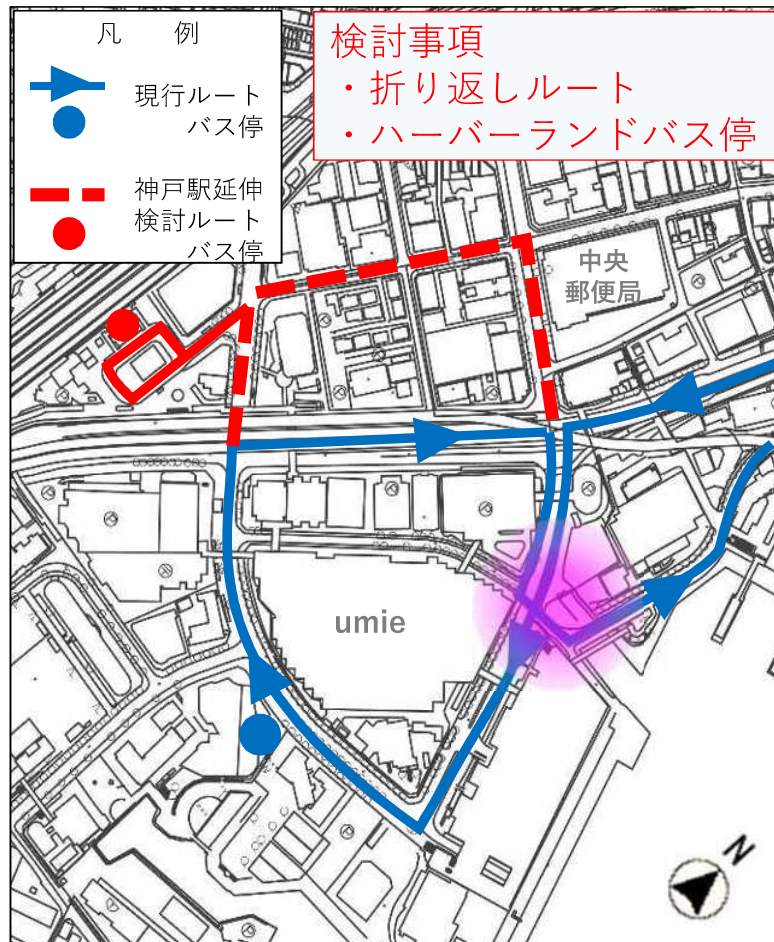
令和4年10月よりポートループ、  
シティーループ全車両にクレジットタッチ決済と  
QRコードリーダーを導入、実証実験を実施

- ・キャッシュレス決済の導入
- ・一定額利用を超過すると乗車運賃が割引になる  
「上限運賃適用サービス」の効果検証



# 神戸駅延伸（令和5年度中）

## 神戸駅乗り入れルート案



## 神戸駅





# 神戸空港の国際化への対応（アクセス向上）

## ■2023年度の取り組み

### ○新交通三宮駅のホーム拡張

- ・ホーム上の滞留空間の拡大による快適性・安全性の向上を目的として、東側へのホームの拡張や階段・エスカレーターの再配置等を実施する。

〔スケジュール〕 2023年度 詳細設計 2027年度 供用開始

### ○ポートライナーのバスによる輸送力補完

- ・ポートライナーの朝ラッシュ時の混雑を緩和するため、三宮・神戸とポートアイランドを結ぶ社会実験バスを引き続き運行する。
- ・ポートライナー定期券所有者が朝ラッシュ時の路線バスを無料で利用できる共通乗車証社会実験の対象者を島内全ての企業・団体へ拡大し、更なるバスへの利用転換促進を図る。

### ○南北軸のアクセス強化検討

- ・神戸空港の国際化により利用者が増加すること等を踏まえ、南北軸のアクセスのあり方を幅広く検討する。

（参考）神戸空港の発着枠の拡大・国際化

2025年 国内線の発着枠を拡大（1日最大80回 ⇒ 120回）、国際チャーター便の運用開始

2030年前後 国際定期便の運航（1日最大40回）



## 施策 2 西北神地域での基幹公共交通の維持

# 神戸電鉄粟生線地域公共交通計画（令和4年12月策定）

## 目標・理念

住む人、訪れる人が快適に利用でき、まちづくりとともに発展する持続可能な公共交通の創造  
～みんなで考え あしたへつなぐ“未来へのチャレンジ”～

## 基本方針

1. 鉄道を軸とした地域公共交通サービスの安定的な維持・確保
2. まちづくりと連携した地域公共交通サービスの構築
3. 市民・行政・事業者等の連携による地域公共交通の活性化

## 主な施策及び事業

- ① 鉄道施設の更新・改良
  - ② 交通結節点として快適な駅環境の整備・強化
  - ③ 適正な運行形態・持続可能な運営形態の検討
- 
- ① まちづくりの推進
  - ② 観光との連携
  - ③ バス、タクシーその他地域交通などアクセス交通の確保・充実
- 
- ① 自発的な公共交通への利用転換
  - ② 粟生線に親しみ、愛着を抱く取組の推進

## 令和5年度の実行予定（例）

- ・ 駅的美装化
- ・ サイクリングとの連携
- ・ パーク&ライドの利用促進
- ・ 企画乗車券の発行
- ・ モビリティ・マネジメントの実施
- ・ 交通事業者や協議会が主体となり開催する各種イベントの充実



# 北神急行の市営化等を契機とした沿線でのまちづくり

神戸市では、まちの魅力向上や活性化を目的に、市と神戸電鉄で締結した連携協定に基づき、地域の玄関口である鉄道駅を中心としたにぎわいのあるまちづくりの一つとして、神戸電鉄が取組む駅施設の再整備に対し補助を行っています。



# 神鉄シーパスワン

< 令和4年度の販売状況 >

令和4年度新設

	神鉄シーパスワン	神鉄シーパスワンplus	神鉄シーパスワン北神
企画券名			
有効区間	神戸電鉄線全線 (神戸高速線「湊川駅 ～新開地駅」除く)	神戸電鉄線全線 +神戸高速線全線 (阪神神戸三宮駅含む)	神戸電鉄線全線+市営地下鉄（「谷 上駅～県庁前駅」・ 「谷上駅～みなと元町駅」）
販売価格	1枚3,600円	1枚5,900円	1枚6,400円
販売期間	令和4年5月30日～令和5年3月31日 ※販売場所により期間が異なります。		
有効期間	令和4年6月1日～令和5年5月31日（10日分乗り降り自由）		
販売枚数	1人合計5枚まで（1年で最大50日分）		
対象者	神戸市在住の70歳以上の方(昭和28年3月31日までに生まれた方)		

< 令和5年度の販売について >

「鉄道駅バリアフリー料金制度」を適用し、全券種の販売価格を1枚あたり100円加算する。

### 施策3 地域コミュニティ交通の維持・充実



# 地域コミュニティ交通の支援

神戸市では、既存の公共交通では十分にサービスが行き届かない等、地域の生活交通に課題を抱えている地域において、地域住民が主体的に取り組む地域コミュニティ交通の導入を支援しています。

## ■神戸市地域コミュニティ交通支援制度

地域の実情に応じた多様な地域コミュニティ交通の実現に向けて、  
地域・運行事業者・神戸市が適正な役割分担のもと、互いに連携協力しながら取り組む活動を支援します。



## ■神戸市地域コミュニティ交通支援制度（運行支援）

神戸市地域コミュニティ交通支援制度では、運行態様（路線定期運行・デマンド運行）に応じて、それぞれ下記の考え方による運行支援を行います。

### 【路線定期運行】

- 1日あたりの目標利用者数（乗って支える目標）を設定し、目標に応じた適正な運行形態（車両タイプ・車両数）で運行
- 運行経費から運賃収入を差し引いた欠損補填



- 3地域区分に応じた支援  
市街地：運行形態に応じた限度額設定  
田園地域：運行経費の上限75%

令和5年度  
引き上げ

地域区分	市街地		田園地域
運行支援	車両タイプ	車両数	限度額 (年間)
	タクシー車両	1台	350万円
		2台	700万円
バス車両	1台	750万円	
車両支援	3/5かつ1,200万円まで		100%

### 【デマンド運行】

令和5年度新設

- 1運行毎の運行単価を設定する
- 2地域区分に応じて運行単価の一部を支援  
市街地：運行単価の上限50%（年間補助限度額：350万円）  
田園地域：運行単価の上限75%（年間補助限度額：525万円）
- 3乗合率に応じた割引運賃（割勘運賃）を設定
- 4市指定のWeb予約システムを導入（市が調達し、貸与する）



- 51人当たりの補助額が基準値以下となる目標乗合率を設定  
市街地：300円/人  
田園地域：900円/人

(例) 運行単価1,000円の場合(市街地)

運行単価	乗合率	運賃設定	補助額	1人あたり補助額
1,000円	1	500円	500円	500円
	2	250円	500円	250円
	3	200円	400円	133円
	4	200円	200円	50円

## ■ デマンド運行に導入する標準的な予約システム

孝行デマンドバス - コガソフトウェア(株) -



乗車場所・降車場所を選択

日付・時刻(便)を選択

同乗者の有無を選択

乗降場を選択してください。

乗車場所 乗降ポイント①

履歴 地図

降車場所 乗降場名の一部を入力

履歴 地図

日時を選択してください。

日付 2021-11-29

時刻

人数を選択してください。

1

予約候補検索

【運行に関するお問い合わせ】  
TEL:  
受付時間:

乗車場所 イオンシネームス山店

履歴 地図

13:00 (0/4席)

14:00 (2/4席) [乗合]

15:00 (4/4席) [満席]

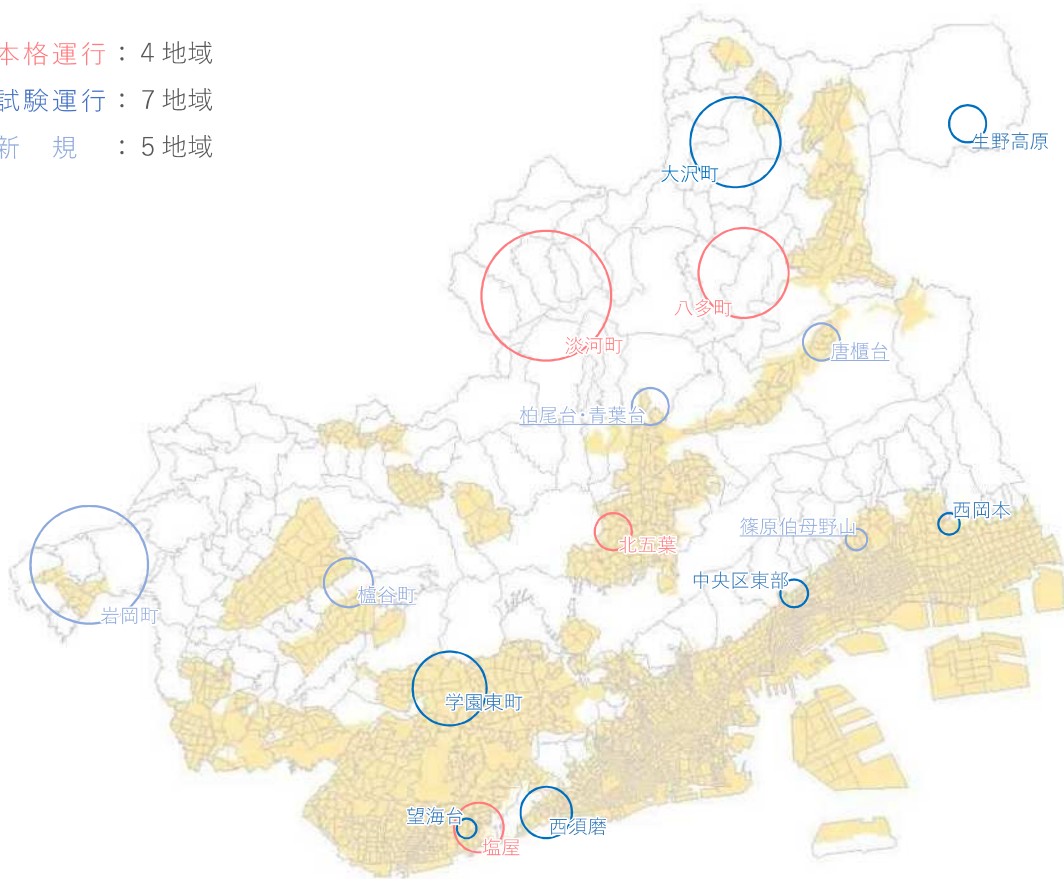
16:00 (0/4席)

予約候補検索

他の利用者の予約状況が  
表示されます

# 地域コミュニティ交通に関する取り組み地域一覧（令和4年度末時点）

本格運行：4地域  
 試験運行：7地域  
 新規：5地域



①	八多町	路線定期運行	バス車両	神姫バス(株)
②	淡河町	自家用有償	—	地域住民
③	北五葉	デマンド運行	タクシー車両	神鉄タクシー(株)
④	塩屋	路線定期運行	タクシー車両	山陽タクシー(株)
⑤	学園東町	路線定期運行	バス車両	神姫バス(株)
⑥	生野高原	路線定期運行	タクシー車両	阪急タクシー(株)
⑦	大沢町	検討中	—	地域住民
⑧	中央区東部	路線定期運行	タクシー車両	キクヤ交通(株)
⑨	西須磨	路線定期運行	タクシー車両	スターハイヤー(株)
⑩	西岡本	路線定期運行	タクシー車両	東京・日本交通(株)
⑪	望海台	デマンド運行	タクシー車両	山陽タクシー(株)
⑫	榎谷町	デマンド運行	タクシー車両	公募予定
⑬	篠原伯母野山	デマンド運行	タクシー車両	公募予定
⑭	唐櫃台	路線定期運行	タクシー車両	公募予定
⑮	柏尾台青葉台	路線定期運行	タクシー車両	公募予定
⑯	岩岡町	検討中	—	—



## 施策 4 北神地域のバス路線の維持

## 路線バス補助路線の地域公共交通計画位置づけ

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（令和2年改正）により、地域公共交通確保維持改善事業費（国庫補助）を活用する系統の地域公共交通計画への位置付けが補助要件化。

### ■ <参考> 国庫補助・県市協調補助を行っている路線（R4年度運行）

- ・ 社～明石駅
- ・ 明石駅前～名谷駅前
- ・ 三木営業所～西神中央駅前

※運行事業者はいずれも神姫バス(株)



### ■ 計画位置づけに向けた今後のスケジュール

令和5年度：計画変更

令和6年度：国の計画認定、令和7年度運行（R6.10-R7.9）申請

## 施策5 観光地（六甲・摩耶山および有馬）での公共交通の利用促進

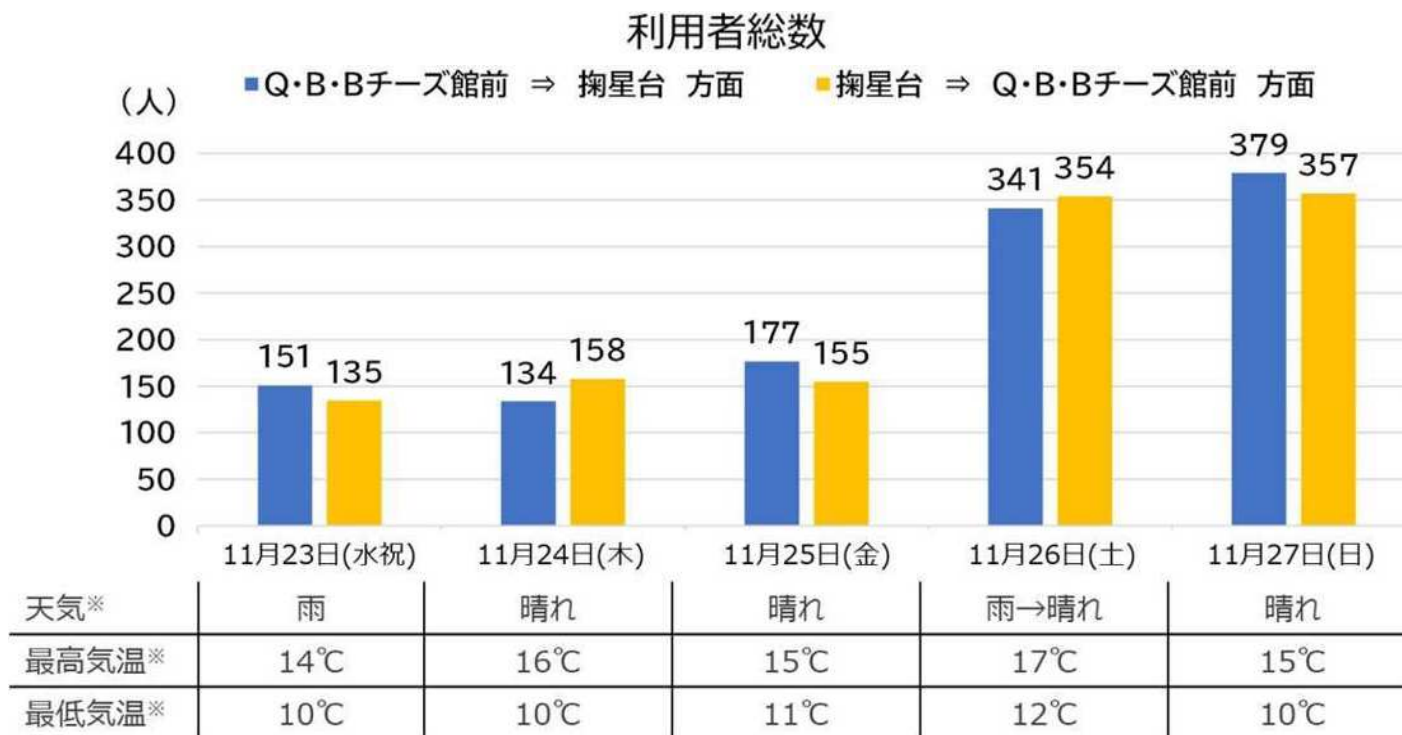


## 1-3 社会実験の結果速報

### グリスロ利用数

Q・B・Bチーズ館前 ⇒ 掬星台 方面：1,182人※

掬星台 ⇒ Q・B・Bチーズ館前 方面：1,159人※ ※5日間合計



※社会実験実施時間である9-17時の摩耶山上での観測値

### <令和5年度の取組>

事業化に向け、グリスロモビリティ運行等の交通社会実験を繁忙期に有償で実施する。



## 施策 6 公共交通の利便性向上および利用促進

# 都心における MaaS の構築

## ■ 事業趣旨

令和 7 年度に開催される大阪・関西万博や神戸空港の国際化によるインバウンドを見据え、交通や施設のサービスのデジタル化によりシームレスな移動を実現する MaaS を構築する。

## ■ 令和 5 年度事業概要

都心の回遊性を高める MaaS の構築

- ・ 交通事業者や施設等の関係者と連携
- ・ タッチ決済やQRコードを活用した公共交通や施設のサービスのデジタル化
- ・ 既にデジタル化されているサービスの拡充

※MaaS（マース：Mobility as a Service）：

複数の交通サービスの検索・予約・決済などを一括で行うサービスであり、観光等の交通以外のサービスとの連携により、移動の利便性を向上させるもの

